

Yottecoでの
個展開催に
満足

寄居駅は町の
玄関口。もっと
元気に

「電車がたくさん
見える終点駅」の
魅力

継続注視

**提言の
ゆくえ**



都内在住ですが、出身は桜沢です。4月にYottecoで個展を開催。鉄道アクセスの良さ、建物の明るさ、利用料金等も明朗と様々な条件がよく、Yottecoに決めました。駅前の環境もとてもきれいでいい感じ。ライブ跡地が活用できれば、もっと良くなると思います。

マーロー憲子さん（板橋区在住）



駅前はきれいになったけど、ラウンドアバウトはちょっと運転しづらいね。駅に降りる人は少ないし、この時期、タクシーに乗るお客様は桜を見ようと東秩父村等、町外に乗せていくことが多い。寄居にも桜の観光スポットはたくさんあるのに案内看板はあっても宣伝が弱いんじゃないかと思います。ライブ跡地も何とかしないと、駅前は元氣にならないですよ。

吉田 茂さん（市街地）



八高線も
写したよ！

電車が大好きな子どもと「今日は東上線の終点まで行ってみよう！」と寄居駅まで来ました。電車を待つ間、寄居蜜柑アイスの看板が見えたのでYottecoに来たんですが、屋上から見える電車に子どもが大喜び！都内からは少し遠いですが、いいところですね。来てよかったです。

津田晶子さん・昂汰さん（板橋区在住）

あわせて読みたい
（議会だよりNo.114）



昨年10月に議会が町に提言した2項目は寄居駅南口の現状を質すものだった。峯岸町政は私たち（議会・町民）の思いをどう受け止めたのか。様々な形で駅前に集う町内外の貴重な声から、提言のゆくえを考える。

路線バス乗り入れ

議会からの提言②
寄居駅南口に県北都市間路線バスの乗り入れを
南口駅前広場と県道を結ぶ中央通り線は整備されるも、駅南口へのバス乗り入れはされておらず。鉄道からの利用者は、勤労福祉センター（よりい会館前）の停留所まで歩くことに……。町民の利便性向上のため寄居駅南口への乗り入れに向けた隣接市町村との連携と、関係事業者等とのさらなる協議を強く要望する。

町の回答「乗り入れ目指し協議」
議会からの提言を受け、県北都市間路線バス維持対策協議会に対し正式に「県北都市間路線バスの寄居駅南口への乗り入れに係る要望書」を提出。

協議会の了承を得て、さらに協議会から運行事業者である協同貨物自動車株式会社に対し、要望書を提出。今後、その回答を受け、1日も早い乗り入れを目指し関係者と協議していく。

きものと考えており、町としては所有者である秩父鉄道株式会社に対して地域経済の発展に寄与する形でこの問題が決着するよう、粘り強く協議を進めていく。

ライフ跡地活用

議会からの提言①
ライフ跡地問題 早期解決を！
令和4年度に寄居駅南口の中央通り線が2車線となり、町の顔となる駅前拠点「Yotteco」YORIBAが整備された。しかし、廃墟となりつつあるライフ跡地の建物は、寄居町南口の活性化に大きな支障となっている。秩父鉄道株式会社との交渉をこれまで以上に加速させ、寄居町の将来を見据えた具体的な進捗が図れるよう要望する。

町の回答「粘り強く協議を進める」
ライフ跡地問題について、議会から二度の提言をいただいたことは大変重く受け止めている。町は中心市街地の賑わいの創出にとって重要なエリアであると認識している。一方、ライフ跡地は民間企業が所有する土地建物であることから、民間取引によって売却先等の選定がなされて活用されるべ

町に届いたか 町民の声・議会の意思

歩く楽しさ
満載



男衾駅から男衾自然公園を回って、寄居駅まで約1万5千歩。みんなで景色を楽しみながら歩きました。寄居に知り合いがいて「いつか行きたいね」と話していたんです。今回初めて訪れましたが、駅前もきれいでいいですね。

熊谷市からお越しの皆さん

ギカイの視点 「来て良かった」の言葉に希望あり

今回の議会からの2つの提言は民間企業に関わる案件であるが、依然、町民からの要望の声は強いことから、議会の提言に至った経緯がある。
特に平成25年（2013年）に閉業したライフ跡地は、秩父鉄道・東武鉄道・JR東日本の鉄道3線が交わる駅前好立地にも関わらず、12年間、転用も解体もされないままの建物が残されている。取材を通して「寄居町の現状を変えるのは、そこに集う人の声である」ことを実感。町外から訪れた人の「来て良かった」という言葉に希望を感じた。今後の町の積極的な取り組みに期待する。